



No.148

2022.9.28

兵庫県立神戸商業高校

図書館

新着図書紹介

新着図書がたくさん入ってきています。
ぜひ、見に来てください。

夏休み期間中に、またはそれ以前に借り
た本がそのままになっていませんか？

必ず返却してください。



『競争の番人 2内偵の王子』 新川 帆立【著】

公正取引委員会の審査官、白熊楓は、九州事務所への転勤を命じられる。ところが配属先は、前任者が次々と離職しているいわくつきの部署だった。霞が関でも話題沸騰の「公取委」ミステリー。

『やりたいことが見つからない君へ』

坪田 信貴【著】

やりたいことがなく、やる気も出ないという人が今すぐトライすべき小さな一歩とは何か。それがのちのち人生にどれだけ大きなインパクトを与えることになるのかを、多彩なエピソードで語る。

『爆弾』

呉 勝浩【著】

秋葉原の廃ビルが予言直後、爆発。まさか、この男“本物”か。さらに男はあっけらかんと告げる。「ここから三度、次は一時間後に爆発します」。警察は爆発を止めることができるのか。爆弾魔の悪意に戦慄する、ノンストップ・ミステリー。

『警視庁災害対策課ツイッター 防災ヒント110』

繁延 あづさ【著】

80万人超のフォロワーを持つ警視庁災害対策課のツイッター(@MPD_bousai)。その中から人気ツイートを選りすぐった110項目。もしものときの便利技、もしものに備えて今できること、日常に役立つ豆知識などを写真とイラストで紹介。読み・実践し、「防災グッズ」として常備できる本。

『おいしいごはんが食べられますように』

高瀬 隼子【著】

職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんばり屋の押尾。ままならない人間関係を、食べものを通して描く傑作。心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。第167回芥川賞受賞作。

『ネットとSNSを安全に使いこなす方法

U18世の中ガイドブック』 ストゥエル, ルーイ【著】

インターネットの基本とマナー、友情とSNS、ネットいじめ、ネットとお金、SNS交流につきもののモヤモヤやトラブル。アオハル（青春）世代のネット&SNSでのお悩みを解決！英国で10万部突破！10代で身につけたいネット上での危機管理対策の日本版



『ぼく モグラ キツネ 馬』

マッケジー, チャーリー【著】

8歳の子どもから80歳の大人まで。だれの心にも入り込み、いつでも力をくれる、永遠の人生寓話。

『汝、星のごとく』

凧良 ゆう【著】

風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海（あきみ）と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權（かい）。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。



『#真相をお話します』

結城 真一郎【著】

ミステリー界の超新星が仕掛ける、五つの罠。日常に潜む小さな「歪み」を、あなたは見抜くことができるか。緻密で大胆な構成と容赦ない「どんでん返し」の波状攻撃に瞠目せよ。日本推理作家協会賞受賞作を含む、痺れる五篇。

【その他の新着図書】

くるまの娘	宇佐見 りん	文学
JK	松岡 圭祐	文学
香君〈上〉西から来た少女〈下〉遙かな道	上橋 菜穂子	文学
交換ウソ日記	櫻 いいよ	文学
夢をかなえるソウ 〈0〉 ガネーシャと夢を食べるバク	水野 敬也	文学
宙（そら）ごはん	町田 そのこ	文学
女人入眼	永井 紗耶子	文学
一度死んでみた	澤本 嘉光/	文学
家庭用安心坑夫	小砂川 チト	文学
夜に星を放つ	窪 美澄	文学
腹を割ったら血が出るだけさ	住野 よる	文学
ぼくたちのスーパースポーツ—小さな思いやりが世界を変える！	デイヴィス、 ベン	文学
7. 5グラムの奇跡	砥上 裕将	文学
サード・キッチン	白尾 悠	文学
百花	川村 元気	文学

たんぼぼ球場の決戦	越谷 オサム	文学
疾風の女子マネ!	まはら 三桃	文学
中学生から知りたいウクライナのこと	小山 哲	ヨーロッパ史
世界史とつなげて学べ超日本史	茂木 誠	歴史
長崎のトリセツ 地図で読み解く初耳秘話 上記シリーズ その他 大分・山口・高知・鳥取・岩手	昭文社編	地理
écriture 新人作家・杉浦李奈の推論 I～III	松岡圭祐	文学
掟上今日子の忍法帖	西尾 維新	文学
精霊幻想記 22/純白の方程式	北山, 結莉	文学
薬屋のひとりごと 12	日向 夏	文学
Re:ゼロから始める異世界生活 30	長月 達平	文学
心霊探偵八雲 11/魂の代償 12/魂の深淵	神永 学	文学
呪術廻戦 20	芥見 下々	文学
妖怪アパートの幽雅な日常 25	香月 日輪	コミック
チ。 —地球の運動について— 1~8	魚豊/ウオト	コミック

ぶらり選書 2学年 清水 豊先生

タイトル 『「やさしさ」という技術』

ステファン・アインホルン著

やさしいとは何を指して使う言葉が考えたことがありますか?そんなやさしさについて書かれた珍しい本です。やさしさというのは、誰でも意識的に身につけることができ、しかも一生磨き続けることができる「技術」だとこの本には書かれています。やさしさが、人生で成功を収めるために、そしてこの世界をより住みやすい場所に変えるために、もっとも重要なことだとも語られています。さて日々の君たちの行動にやさしさはどれくらいあるでしょうか。友だち、家族、先生など普段から誰に対してもやさしく接することができているでしょうか。自分の持つ周りへの影響力とやさしさがもたらす周りへの影響力にこの本を読んで気づいてもらえたらと思います。外国で書かれた本なので全てみなさんに当てはまるとは思いませんが、共感できるところもたくさん見つかると思います。